

第Ⅷ部 労働安全衛生及び環境プロジェクト、運動及び行事

Ⅷ—1 はじめに

1 タイでは労働保護福祉局の責任の下で、非常に多様性を持ったプロジェクト、キャンペーン及び運動が進行している。これらの内容に関する系統的な資料としては、タイ王国政府労働省労働保護福祉局安全衛生部が2015年に公表した、

“NATIONAL PROFILE ON OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH OF THAILAND 2015”

があるので、以下にこれらの原文（英語版）の記述から抜粋したものを「Ⅷ—2」として日本語に翻訳して紹介する。

2 次に、その後の状況としては、タイ王国政府労働省労働保護福祉局安全衛生部が2018年に公表した“OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH IN THAILAND 2018”中の“XII. Occupational Safety, Health and Environment Projects, Activities and Events”に記載されている主な活動等に関する記述を「Ⅷ—3」として紹介する。

Ⅷ—2 “NATIONAL PROFILE ON OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH OF THAILAND 2015”（タイの労働安全衛生の国家的なプロフィール、2015）

8.1. シリントン王女の下での「安全な作業場」に関するプロジェクト

マハ チャクリ シリントン王女の恵みぶかい序文では、次のとおりお書きになっている。

「労働者における負傷及び身体障害を予防するための安全衛生対策の確立」は、2014年12月1日のコンケーン県での北部地域労働者リハビリテーションセンターの開会式の間大臣（スラサック カージャナラート将軍）及び労働省の上級幹部に与えられた。

労働者の安全及び健康を慮られる王女の英慮にお応えして、労働大臣は、労働安全衛生の認識の重要性について繰り返して強調されるために、「王女の下における安全な作業場」に関するプロジェクトを、2015年4月2日の王女の60歳の誕生日という吉兆の下で開始した。

このプロジェクトは、持続的な安全文化を創造するため、作業場での安全衛生及び事業者と労働者との間での協力の促進を狙いとしている。このプロジェクトのキャンペーン及び活動は、次の事項を含んでいる。

1) 労働省は、2015年を職場における「安全な精神」、「安全意識」を築き上げる年として宣言した。

2) 労働保護福祉局（DLPW）は、プロジェクト「王女の下における安全な作業場」について、7000以上（2015年3月のもの）の作業場が、自主的に参加して、取りかかるよう働きかけた。次の事項が実行されるであろう。

—すべての勧告された労働安全衛生ガイドラインに従うことを奨励する。

—労働者の安全及び健康を慮られる王女の英慮に関する展示会を開催し、また、社会における学生及び若者の、職場における安全と衛生の意識を高めるための企業の社会的責任（CSR）活動を実施する。

—達成した作業場に対しては、認証証書が発行される。

8.2. アセアン労働安全衛生ネットワーク会合及び大会

アセアン諸国における労働安全衛生分野での協力は、1999年にアセアン労働安全衛生ネットワーク（ASEAN-OSHNET）が設立されて以来、長い間認知されてきた。アセアン10カ国すべて（ブルネイダルサラーム、カンボジア、インドネシア、ラオスPDR、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイそしてヴィエトナム）は、当該地域における労働安全衛生の協力及び統一を強化するためにネットワークに参加した。すべての参加国の代表から構成される調整委員会は、このネットワークの運営を調整するために、1年に1回参集する。アセアン構成諸国は、調整委員会の会合の主権を交代制にしており、タイは、すべてのアセアン諸国がアセアン社会に復帰することに同意した2015年に、第2回目のホストになるであろう。

その会合は、2015年4月21日～23日までバンコクで開催され、第16回調整委員会（アセアン構成諸国及び外部の協力諸国からおおよそ50の代表団）及び第2回アセアン—OSHNET大会（関連する機関、企業及び学術研究機関からおおよそ250人の参加者）が開催された。

8.3. 国家安全週間

1985年12月8日に、内閣は、最終的に、国家レベルの委員会である国家安全週間組織委員会を設置する合意の決議を行った。国家安全週間は、技術的な安全衛生情報の中心となると考えられている。それは、労働者、事業者そして関連する機関において、労働安全衛生意識を向上させるための、労働安全衛生セミナー、労働安全衛生情報の交換、労働安全衛生キャンペーン及び活動の促進のための重要なイベントである。最初の国家安全週間は、1986年6月1日～3日に組織され、労働安全衛生セミナー及び国全体の労働安全衛生キャンペーンを特徴としていた。これ以来、国家安全週間は、現在に至るまで毎年組織されている。

2000年には、国家安全週間組織委員会は、5つの地域、北部、北東部、東部、西部そして南部において、労働安全衛生の知識及び技術を広めることを目的として、国家安全週間を立ち上げることに合意した。

2000年以来、国家安全週間行事は、継続して、様々な県で開催している。

8.4. 労働安全衛生に優れた作業場に関するコンテスト

最初のコンテストは、国家安全週間行事の重要な部分として、1986年に設けられ、次の目的があった。

- －作業場における労働安全衛生管理システムのより良い基準を普及する。
- －労働災害及び傷害の減少及び組織のイメージ及び評判のために労働安全衛生プログラムの重要性を職場に奨励し、及び革新をもたらす。

8.5. ゼロ災害キャンペーン

労働保護福祉局（DLPW）は、労働安全衛生と作業環境の向上に関する作業場における意識の喚起のために、2001年に現在でも進行しているゼロ災害キャンペーンを立ち上げた。継続的に労働災害及び傷害を減少させ、及び次の要件に適合している作業場は、労働大臣から名誉標章で表彰される。

- 1) 金賞—職場を離れる結果になる労働災害がない、1千万又はそれを超える労働時間を持つ、いかなる作業場に対して

- 2) 銀賞－職場を離れる結果になる労働災害がない、3 百万～999 万 9999 時間までの労働時間を持つ、いかなる作業場に対して
 - 3) 銅賞－職場を離れる結果になる労働災害がない、100 万～299 万 999 時間までの労働時間を持つ、いかなる作業場に対して
 - 4) 初級賞－累積労働時間にかかわらず、職場を離れる結果になる労働災害がない、いかなる作業場に対して
- 2001 年から 2014 年までに、2,977 の表彰を受けた作業場がある。

VIII—3 “OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH IN THAILAND 2018”中の“XII. Occupational Safety, Health and Environment Projects, Activities and Events”のうちの主なプロジェクト、活動及び行事の紹介

原典の英語原文	左欄の日本語仮訳
XII. Occupational Safety, Health and Environment Projects, Activities and Events	XII. 労働安全衛生及び環境のプロジェクト、活動及び行事
Currently, a large variety of OSH projects, campaigns or activities are ongoing under the direct responsibility of the Department of Labour Protection and Welfare, Ministry of Labour. Selected projects, activities and events in the recent fiscal years are summarized below:	現在、労働省労働保護福祉局の直接の責任の下で、様々な OSH プロジェクト、キャンペーン又は活動が進行中です。 以下に、最近数年間のプロジェクト、活動、イベントをまとめてみました。
7.1 Ratification of the ILO Convention No. 187 “Promotional Framework for Occupational Safety and Health, 2006”	7.1 ILO 条約第 187 号「労働安全衛生のための促進の枠組み 2006」の批准
On 23 March 2016, the Ambassador and Deputy Permanent Representative of Thailand to the United Nations Office and other International Organizations in Geneva, accompanied the Permanent Secretary of Ministry of Labour to deposit the instrument of ratification of International Labour Organization (ILO) Convention No. 187 on the Promotional Framework for Occupational Safety and Health, 2006 to the Director-General of ILO, on behalf of the Royal Thai Government. The ratification reassures Thailand’s commitment to improve working and living conditions for workers in compliance with international labour standards. This is the 16th ILO	2016 年 3 月 23 日、タイ王国政府を代表して、ジュネーブの国連事務所及びその他の国際機関の駐ジュネーブ大使兼副代表は、労働省の事務次官に同行し、2006 年の労働安全衛生の促進枠組みに関する国際労働機関（ILO）第 187 号条約の批准書を ILO 事務局長に寄託しました。 この批准は、国際的な労働基準を遵守して労働者の労働条件と生活条件を改善するというタイのコミットメントを再確認するものです。この条約は、タイが批准した 16 番目の ILO 条約であり、2017 年 3 月 23 日からすでに発効しています。

<p>Convention ratified by Thailand, which has already entered into force since 23 March 2017.</p>	
<p>The Convention No. 187 is one of the ILO's core instruments in safety and health at workplace. The member states that ratify this Convention are obliged to formulate a policy and issue supporting domestic laws and regulations to ensure occupational safety and health and to effective implementation. The promotion of occupational safety and health is part of the ILO's agenda of decent work for all, in line with the ILO's Constitution which aims at protecting workers and preventing illness, injury and death at workplace. The importance of decent work is also highlighted in Goal 8 of the Sustainable Development Goals (SDGs), which seeks to promote inclusive and sustainable economic growth, employment and decent work for all.</p>	<p>第 187 号条約は、職場の安全と健康に関する ILO の中核的な文書の一つです。この条約を批准している加盟国は、労働安全衛生を確保するための政策を策定し、それを支援する国内法や規制を発行し、効果的な実施を行うことが義務付けられています。労働安全衛生の促進は、労働者を保護し、職場での疾病、負傷、死亡を防止することを目的とした ILO の憲章に沿って、万人のためのディーセント・ワーク（まっとうな仕事）という ILO のアジェンダの一部です。ディーセント・ワークの重要性は、包括的で持続可能な経済成長、雇用、万人のためのディーセント・ワークの促進を目指す持続可能な開発目標（SDGs）の目標 8 でも強調されています。</p>
<p>7.2 “Safety Thailand” Project</p>	<p>「安全なタイ国」プロジェクト</p>
<p>In supporting of the ILO Convention No. 187 ratification and to be a part of the National Campaign “Startup Thailand” which was launched by the current Government of Thailand, the Ministry of Labour proposed a National Project on Safety and Health at Work to be implemented under the cooperation of relevant authorities. Hence, the so-called “Safety Thailand” project has initially been established by the agreement of the following 6 Ministries:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Ministry of Agriculture and Cooperatives • Ministry of Industry • Ministry of Interior • Minister of Labour • Ministry of Public Health • Ministry of Transport 	<p>タイ労働省は、ILO 条約第 187 号の批准を支持し、タイ政府が立ち上げた「スタートアップ・タイランド」キャンペーンの一環として、関係当局の協力を得て実施する「職場の安全と健康に関する国家プロジェクト」を提案しました。</p> <p>これにより、以下の 6 つの省庁の合意により、いわゆる「安全なタイ国」プロジェクトが発足しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農業及び協同組合 • 産業省 • 内務省 • 労働省 • 保健省 • 運輸省

<p>The Memorandum of Understanding was officially signed by the Ministers of the above 6 Ministries. This National Project aims to integrate collaboration to improve/strengthen the performance on Occupational Safety and Health (OSH) of the country, leading to the reduction of work-related accidents and injuries. In overall, this will eventually result in the better quality of life of the whole population with sustainability.</p>	<p>覚書は、上記6省庁の大臣によって正式に署名されました。 この国家プロジェクトは、国の労働安全衛生（OSH）のパフォーマンスを改善・強化するための協力関係を統合し、労働関連の事故及び傷害の減少につながることを目的としています。 全体として、これは最終的には持続可能な国民全体の生活の質の向上につながるものです。</p>
<p>The implementation of this Project divided into two phases:</p> <p>1. Short-term Action</p> <p>All 6 Ministries will enhance the cooperation among each other to integrate their work plans and activities within the framework of these 3 aspects: A) Safety in Construction Work, B) Fire Safety in the Workplaces, and C) Chemical Safety. Each aspect will be performed in 3 dimensions.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Promotional dimension (build-up recognition and awareness) - Regulatory dimension (strengthen enforcement) - Participatory dimension (create working network and public involvement) <p>2. Long-term Action</p> <p>National strategies for the administration of Occupational Safety and Health shall be developed under the close collaboration among the above-mentioned Ministries, with the ultimate goal to achieve sustainable culture of prevention on safety and health.</p>	<p>このプロジェクトの実施は、2つのフェーズに分かれています。</p> <p>1. 短期アクション</p> <p>全6省庁は、次の3つの側面の枠組みの中で、それぞれの作業計画や活動を統合するために、相互の協力を強化していきます。</p> <p>A) 建設工事における安全性、 B) 職場における火災安全性 C) 化学物質安全性</p> <p>それぞれの側面を3つの次元で実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 推進次元（認知・意識の醸成） - 規制面（執行の強化） - 参加型の次元（ワーキングネットワークの構築及び一般公衆の参画の実現） <p>2. 長期的な行動</p> <p>労働安全衛生行政のための国家戦略は、上記の各省庁間の緊密な連携の下で策定され、安全と健康に関する持続可能な予防文化を実現することを最終目標としています。</p>
<p>Subsequently, Safety Thailand project has expanded its network of operations with other 4 ministries and 4 organizations:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Ministry of Education ・ Ministry of Natural Resources and Environment 	<p>その後、安全なタイ国プロジェクトは、他の4省庁及び4団体とのネットワークを拡大してきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 教育省 - 資源環境省

<ul style="list-style-type: none"> ・ Ministry of Science and Technology ・ Ministry of Tourism and Sports ・ Industrial Estate Authority of Thailand ・ The Federation of Thai Industries ・ The Thai Chamber of Commerce ・ The Engineering Institute of Thailand <p>As a result, it became the network of 10 ministries + 4 organizations. Several committee meetings were held with the representatives of the Parties to discuss and contribute to driving operation into the new era of Thailand 4.0.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 科学技術省 - 観光スポーツ省 - タイ工業団地公社 - タイ工業連盟 - タイ商工会議所 - タイ工科大学 <p>その結果、10 省庁+4 機関のネットワークとなりました。タイ 4.0 の新時代に向けての運営の推進に貢献するために、締約機関の代表者との間で数回の委員会が開催されました。</p>
<p>7.3 World Day on Safety and Health at Work</p>	<p>7.3 世界労働安全衛生デー</p>
<p>The International Labour Organization (ILO) declared April 28th of each year as the World Day for Safety and Health at Work, which has been observed since 2003. The main objective of this celebration is to promote the prevention of occupational accidents and diseases globally that will contribute to the development of sustainable safety and health culture.</p> <p>Hence, World Day for Safety and Health at Work is an important day to all workers. It is the day for awareness-raising campaign that intended to focus international attention on emerging trends in the field of occupational safety and health, on the magnitude of problems worldwide, and on how promoting and creating a safety and health culture can help reduce the number of work-related deaths and injuries. For Thailand, the Department of Labour Protection and Welfare has organized the event to reflect the government's determination and commitment to safeguard our workers' well-being and enhance their productive capacity, either in formal or informal sectors.</p> <p>In 2018, a special event was organized at the Grand Conference Hall of the Occupational Safety and Health Bureau, Bangkok. The main objective is to</p>	<p>国際労働機関（ILO）は、毎年4月28日を「労働安全衛生の世界デー」と宣言し、2003年より遵守しています。</p> <p>この記念日の主な目的は、持続可能な安全衛生文化の発展に寄与する労働災害及び疾病の予防を世界的に推進することにあります。</p> <p>したがって、「世界労働安全衛生デー」は、すべての労働者にとって重要な日です。この日は、労働安全衛生の分野における新たな傾向、世界的な問題の大きさ、安全衛生文化の促進と創造が労働関連死傷者数の削減にどのように役立つかについて、国際的な注目を集めることを目的とした意識向上キャンペーンの日です。タイでは、労働保護福祉省が、労働者の福利を保護し、正規・非正規を問わず労働者の生産能力を向上させるという政府の決意とコミットメントを反映して、このイベントを開催しました。</p> <p>2018年、バンコクの労働安全衛生部の大会議場で特別イベントが開催されました。このイベントの主な目的は、対象となる個人、特にこれから仕事の世界に入</p>

<p>raise awareness on Safety and Health at Work among the targeted individuals particularly the new generations those are entering the world of work. Approximately 200 representatives of the workers, employers, students, government agencies, and other relevant organizations participated in this event.</p>	<p>ってくる新世代の人たちの間で、労働安全衛生に関する意識を高めることです。このイベントには、労働者、使用者、学生、政府機関、その他関係機関の代表者約 200 名が参加しました。</p>
<p>7.4 National Safety at Work Memorial Day</p>	<p>7.4 全国労働安全記念日</p>
<p>National Safety at Work Memorial Day has been observed in Thailand for over two decades. It is an important day to recall the worst industrial fire accident that occurred on May 10, 1993 at the Kader Toy Factory in Nakhon Pathom Province. This fire tragedy resulted in 188 fatalities and more than 400 severe injuries.</p> <p>The loss from this fire accident brought about a great deal of interest and recognition in the importance of safety at work. The cabinet resolution on August 26, 1997 then declared May 10 of every year to be the National Safety at Work Memorial Day. The purpose is to ensure that government agencies, private sector, employers, employees and the general public are aware of the consequences from the occupational accident and injury, and to build-up awareness among employers, employees and all working peoples.</p> <p>In 2018, the Department of Labour Protection and Welfare organized an event at the Occupational Safety and Health Bureau, Bangkok. Activities include the religious ceremony to consign merit to workers who lost their lives in workplace accidents, seminar, exhibition, etc. Approximately 400 representatives of the workers, employers, students, government agencies, and other relevant organizations participated in this event.</p>	<p>タイでは 20 年以上前から「全国労働安全記念日」が制定されています。この日は、1993 年 5 月 10 日にナコンパトム県のカーダー玩具工場で発生した最悪の産業火災事故を想起させる重要な日です。この火災事故は 188 人の死者と 400 人以上の重傷者を出しました。</p> <p>この火災事故による損失は、労働安全の重要性に大きな関心と認識をもたらしました。その後、1997 年 8 月 26 日の閣議決定により、毎年 5 月 10 日を「全国労働安全記念日」とすることが宣言されました。その目的は、政府機関、民間企業、使用者、被雇用者及び一般市民が労働災害や傷害による影響を認識し、使用者、被雇用者及びすべての労働者の間で意識を高めることにあります。</p> <p>2018 年は、バンコクの労働安全衛生部で労働者保護福祉局主催のイベントが開催されました。</p> <p>活動内容は、労働災害で命を落とした労働者に功德を奉納する宗教儀式、セミナー、展示会等です。労働者、使用者、学生、政府機関及びその他の関係機関の代表者約 400 人が参加しました。</p>
<p>7.5 National Safety Week</p>	<p>7.5 全国安全週間</p>
<p>In December 1985, the cabinet resolution met an agreement to establish a</p>	<p>1985 年 12 月には、全国レベルの委員会である全国安全週間組織委員会を設置</p>

<p>National Safety Week Organizing Committee, which is a committee at national level. National Safety Week has been considered a center of technical OSH information. It is an important event for OSH seminars, exchange of OSH information, promotion of OSH campaigns and activities to raise OSH awareness among workers, employers, and relevant parties. The first National safety week was organized in June 1986 featuring OSH seminars and nationwide OSH campaigns. Since then, the National Safety Week has been organized annually.</p> <p>Since 2017, the Thailand Institute for the Promotion of Occupational Safety and Health (TOSH) – a public organization under the Minister of Labour, has been assigned to be the main organizer of such the event. The title “National Safety Week” has also been changed to “Thailand Safety@Work” since then. For 2018, the event was held between June 28–30 at the Bangkok International Trade & Exhibition Centre (BITEC), under the theme “Culture of Prevention for Safety Thailand”. It is estimated that there were over 10,000 visitors to this event each year.</p>	<p>することが閣議決定されました。全国安全週間は、技術的な OSH 情報の発信地とされてきました。それは、OSHセミナー、OSH情報の交換、OSHキャンペーンの推進、労働者、使用者、関係者のOSH意識向上のための活動等を行う重要なイベントです。</p> <p>1986年6月に第1回全国安全週間が開催され、OSHセミナーや全国的なOSHキャンペーンが行われました。それ以来、全国安全週間は毎年開催されています。</p> <p>2017年からは、労働大臣の下にある公的機関であるタイ労働安全衛生研究所 (TOSH) が、このようなイベントの主な主催者となることになりました。また、「National Safety Week」というタイトルも、この頃から「Thailand Safety@Work」に変更されています。2018年は、6月28日から30日の間、バンコク国際貿易展示場 (BITEC) で「安全なタイ国のための予防文化」をテーマに開催されました。毎年1万人以上の来場者があったと推定されています。</p>
<p>7.6 Contest on Workplaces of Excellence in OSH</p>	<p>7.6 労働安全衛生優秀職場コンテスト</p>
<p>The first contest was launched in 1986, as an important part of the National Safety Week event. For the past several years, such the contest and presenting of awards have been organized separately with the following objectives:</p> <ul style="list-style-type: none"> - To promote better standards and system of OSH management among workplaces, - To encourage and convince the workplaces to recognize the important of OSH program for the reduction of occupational accidents and injuries and for organization’s image and reputations. 	<p>第1回コンテストは、1986年に全国安全週間の重要なイベントの一環として開始されました。</p> <p>過去数年間、このようなコンテストと表彰は、次のような目的で別々に開催されてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 職場間の OSH 管理の基準及びシステムの向上を図る。 - 労働災害及び傷害を減らし、組織のイメージ及び評判を良くするために、職場に OSH プログラムの重要性を認識させ、説得する。

<p>In 2018, the awarding ceremony was held in conjunction with the “Thailand Labour Management Excellence Awards” on August 23 at the Impact Convention – Muang Thong Thani, Nonthaburi. Total of 187 companies achieved their milestones in OSH management and have been recognized as the “Workplaces of Excellence in OSH” for this year.</p>	<p>2018 年は、8 月 23 日にノンタブリーのインパクトコンベンション・ムアントンタニで開催された「タイ労務管理優秀賞」に合わせて表彰式が行われました。合計 187 社が OSH 管理のマイルストーンを達成し、今年度の「OSH 優秀職場」に認定されました。</p>
<p>7.7 ASEAN-OSHNET Awards</p>	<p>7.7 ASEAN-OSHNET 賞</p>
<p>The ASEAN Occupational Safety and Health Network (ASEAN-OSHNET), in 2013, started to develop the framework for the ASEAN-OSHNET Awards. It has a vision that the Awards would cultivate better awareness and greater involvement of business leaders in achieving the mindset that all work injuries and ill health are preventable in ASEAN Member States. The Awards will also significantly raise the profile of OSH in ASEAN and inspire further progress on OSH developments for the region, as well as promote cooperation and solidarity among companies in ASEAN as models of OSH best practices.</p> <p>Initially, the ASEAN-OSHNET awarding ceremony is held biennially, with the 1st in 2016 and the 2nd in 2018. There are 2 categories of Awards:</p> <p>a) ASEAN-OSHNET Excellence Awards for companies with good OSH management systems and performances. For 2018, the award winner from Thailand is Thai Stanley Electric Public Company Limited.</p> <p>b) ASEAN-OSHNET Best Practice Awards for Small and Medium Enterprises (SMEs) with good OSH practices. For 2018, the award winner from Thailand is IRPC Public Company Limited (IRPC Ayutthaya Depot).</p> <p>The awarding ceremony for 2018 was held just after the ASEAN-OSHNET Coordinating Board Meeting in Cambodia. Representatives of both</p>	<p>アセアン労働安全衛生ネットワーク（ASEAN-OSHNET）は、2013 年に ASEAN-OSHNET 賞のフレームワークの開発に着手しました。ASEAN-OSHNET 賞は、ASEAN 加盟国において、すべての労働災害や健康障害は予防可能であるという考え方を実現するために、ビジネスリーダーの意識を高め、より多くの参加を促すというビジョンを持っています。また、同賞は、ASEAN における OSH の認知度を大幅に高め、同地域の OSH 開発のさらなる進展を促すとともに、OSH のベストプラクティスのモデルとして、ASEAN の企業間の協力と連帯を促進しています。</p> <p>当初、ASEAN-OSHNET の表彰式は 2 年に 1 回開催され、2016 年は第 1 回、2018 年は第 2 回となっています。アワードには 2 つのカテゴリーがあります。</p> <p>a) 良好な OSH 管理システムとパフォーマンスを持つ企業を対象とした ASEAN-OSHNET 優秀賞。2018 年は、タイからの受賞者は Thai Stanley Electric Public Company Limited です。</p> <p>b) ASEAN-OSHNET Best Practice Awards for Small and Medium Enterprises (SMEs) for good OSH practice. (中小企業の優良労働安全衛生実践のための 最高賞。2018 年は、タイからの受賞者は IRPC Public Company Limited (IRPC Ayutthaya Depot) です。</p> <p>カンボジアで開催された ASEAN-OSHNET 調整委員会の直後に、2018 年度の表彰式が行われました。タイの両社の代表者が参加し、カンボジアの労働・職</p>

<p>companies from Thailand joined the ceremony to receive the awards presented by the Minister of Labour and Vocational Training of Cambodia and the ASEAN Secretary-General.</p>	<p>業訓練大臣及び ASEAN 事務総長から贈呈された賞を受け取りました。</p>
<p>7.8 ASEAN-OSHNET Scorecard Workshop</p>	<p>7.8 ASEAN-OSHNET スコアカードワークショップ</p>
<p>ASEAN-OSHNET Scorecard has been developed to be the systematic framework in collecting and analyzing OSH statistics and information across the ASEAN Member States (AMS). The proposed OSH Scorecard was adapted from various references particularly the ILO Convention No. 187. An analysis of the aggregated ASEAN-OSHNET Scorecard can help determine the progress of OSH in the region. The objectives of the Scorecard are hence to:</p> <ul style="list-style-type: none"> a) Provide an overview of developments in OSH situations and performance; b) Enable benchmarking within the ASEAN region; c) Identify gaps within the current framework of the AMS; and d) Facilitate cooperation across AMS based on the different areas of expertise. <p>Thailand, as the program area coordinator for information, hosted the ASEAN-OSHNET Workshop on OSH Scorecard and Information System in Bangkok, from September 27–28, 2017. The event is an activity under the ASEAN-OSHNET Plan of Action for 2016-2020, with the main objective to improve the ASEAN-OSHNET Scorecard System. Representatives from 9 member states: Cambodia, Indonesia, Lao PDR, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore, Thailand, and Vietnam participated in this Workshop. There were also representatives from the ASEAN Secretariat (ASEC), the ILO and the Korea Health and Safety Authority (KOSHA).</p> <p>The revised ASEAN-OSHNET Scorecard consists of 80 indicators under 6</p>	<p>ASEAN-OSHNET スコアカードは、ASEAN 加盟国 (AMS) 全体の OSH 統計と情報を収集・分析するための体系的なフレームワークとして開発されました。提案された OSH スコアカードは、様々な文献、特に ILO 条約第 187 号を参考にしたものです。集計された ASEAN-OSHNET スコアカードの分析は、地域における OSH の進捗状況を決定するのに役立ちます。したがって、スコアカードの目的は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) OSH の状況とパフォーマンスの進展の概要を提供する。 b) ASEAN 地域内でのベンチマークを可能にする。 c) AMS の現在の枠組みの中でのギャップを特定する。 d) 異なる専門分野に基づいて、AMS 全体の協力を促進する。 <p>タイは情報のプログラムエリアコーディネーターとして、2017 年 9 月 27 日～28 日にバンコクで「ASEAN-OSHNET ワークショップ 労働安全衛生スコアカード及び情報システム」を開催しました。このイベントは、ASEAN-OSHNET の 2016-2020 年行動計画の下で行われている活動で、ASEAN-OSHNET スコアカードシステムの改善を主な目的としています。本ワークショップには、加盟国 9 カ国 (カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム) の代表者が参加しました。また、ASEAN 事務局 (ASEC)、ILO、韓国安全衛生庁 (KOSHA) の代表者も参加しました。</p> <p>ASEAN-OSHNET スコアカードの改訂版は、6 つのトピックの下に 80 の指標</p>

<p>topics, notably:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Topic I : National OSH Policy and Strategy ・ Topic II : National OSH Programme ・ Topic III : National OSH System <p>III (A): OSH Inspection III (B): OSH Training and Services III (C): OSH Research and Information III (D): OSH Promotion III (E): OSH Partners</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Topic IV : Occupational Accidents ・ Topic V : Occupational and Work-related Illnesses ・ Topic VI : International Standards/Collaborations and Others 	<p>で構成されており、その中でも特に注目すべきは、「トピック I : 国家の OSH 政策及び戦略」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - トピック I : 国家の OSH 政策及び戦略 - トピック II : 全国 OSH プログラム - トピック III : 全国の OSH 制度 <p>III (A) : OSH 検査 III (B) : OSH トレーニングとサービス III (C) : OSH の研究及び情報 I I I I (D) : OSH の推進 III (E) : OSH パートナー</p> <ul style="list-style-type: none"> - トピック IV : 労働災害 - トピック V : 職業病及び仕事上の病気 - トピック VI : 国際規格・共同研究等
<p>7.9 ASEAN Labour Ministers Meeting Special Session on OSH</p>	<p>7.9 ASEAN 労働大臣会合 OSH に関する特別セッション</p>
<p>A Special Session of ASEAN Labour Ministers on Occupational Safety and Health was organized in conjunction with the XXI World Congress on Safety and Health at Work 2017 in Singapore, on September 3, 2017.</p> <p>The Labour Ministers from all AMS including Thailand reaffirmed their commitment to improve occupational safety and health for the region's workers, with the signing of an ASEAN Statement on Improving OSH for Sustainable Economic Growth. The Statement captured the ASEAN Member States' intent to raise OSH standards through reviewing safety regulation, building OSH capabilities, and deepening collaboration, among others. Thus, the signing of the Statement clearly indicates that all ASEAN Labour Ministers commit to seriously improve OSH at the workplace. It is also a reflection of ASEAN Member States' understanding and commitment to</p>	<p>2017 年 9 月 3 日、シンガポールで開催された「第 XXI 世界労働安全衛生会議 2017」に合わせて、「労働安全衛生に関する ASEAN 労働大臣特別セッション」が開催されました。</p> <p>タイを含む全 AMS の労働大臣は、「持続可能な経済成長のための OSH 改善に関する ASEAN 声明」に署名し、地域の労働者のための労働安全衛生の改善に向けたコミットメントを再確認しました。声明には、安全規制の見直し、OSH 能力の構築、協力関係の深化等を通じて、OSH 基準を向上させていくという ASEAN 加盟国の意向が込められています。このように、声明への署名は、すべての ASEAN 労働大臣が、職場における OSH の真剣な改善にコミットしていることを明確に示しています。これはまた、長期的な経済成長を維持する上で極めて重要なディーセント・ワーク（まっとうな仕事）への ASEAN 加盟国の理解とコミットメントを反映したのもでもあります。</p>

decent work which is pivotal in sustaining long-term economic growth.	
7.10 Safety at Work Knowledge Development Center and Exhibition	7.10 労働安全知識開発センター及び展示会
<p>Her Royal Highness Princess Maha Chakri Sirindhorn’s gracious preamble wrote “The establishment of safety and health measures at workplace to prevent injuries and disabilities amongst workers” was given to the Minister and executives of the Ministry of Labour during the opening ceremony of the Northeastern Region Worker Rehabilitation Center in Khonkaen province on the December 1, 2014.</p> <p>In response to her graciousness in caring for workers’ safety and health, the Department of Labour Protection and Welfare therefore established the “Safety at Work Knowledge Development Center and Exhibition, in celebrations on the occasion of Her Royal Highness Princess Maha Chakri Sirindhorn’s 60th Birthday Anniversary”. The Center has been in service since January 2017, serving 500-1,000 visitors per month. Target visitors are all workers, employers, students and relevant government officers, with the objective to build-up safety awareness among them.</p> <p>Currently, the Center consists of 11 display sections for different topics, including chemical hazards, PPE, color coding, confined spaces, hazard communication, electrical safety, machinery safety, welding safety, manual material handling, working at height, unsafe acts and conditions. However, in this beginning phase, the Center still have a lot of limitations, particularly in terms of display models and presentation technology as well as the shortage of qualified instructors.</p>	<p>マハ チャクリ シリントーン王女殿下の優雅な前文には「労働者の負傷及び障害を防止するための職場における安全衛生対策の確立」と書かれており、2014年12月1日、コンカエン県の北東部地域労働者リハビリテーションセンターの開所式の際に、労働省の大臣及び幹部に授与されました。</p> <p>そこで労働保護福祉部は、労働者の安全と健康に配慮してくださっている王女殿下のご厚意により、「マハチャクリ・シリントーン王女殿下生誕 60 周年記念事業として、「労働安全知識開発センター・展示会」を開設しました。同センターは、2017年1月からサービスを開始し、月間 500～1,000 人の来場者を受け入れています。対象は労働者、使用者、学生及び政府関係者で、安全意識の向上を目的としています。</p> <p>現在、センターは、化学物質の危険性、PPE（個人用保護具）、色分け、狭い空間、危険伝達、電気安全、機械安全、溶接安全、手作業、高所作業、危険な行為や状況を含む 11 の展示セクションで構成されています。</p> <p>しかし、この初期段階では、特にディスプレイのモデル及びプレゼンテーション技術の面で、また、資格を持ったインストラクターの不足等、センターにはまだ多くの制限があります。</p>
7.11 Development of e-Learning System on OSH	7.11 OSH（労働安全衛生）に関する e-ラーニングシステムの開発
The Department of Labour Protection and Welfare has launched the “Project for Capacity Building on OSH via e-Learning” as a new strategy to transfer	労働保護福祉局は、OSH 担当者、特に OSH 検査官及び安全管理者に技術的な知識や情報を伝達するための新たな戦略として、「e-Learning を通じた OSH の

<p>technical knowledge and information to OSH personnel, particularly OSH inspectors and safety officers. This Project received financial support from the Workmen's Compensation Fund and the web-based e-Learning system "e-OSH" was developed by Sukhothai Open University. It is accessible at www.e-osh.net.</p> <p>Currently, this e-OSH system consists of 3 leaning modules:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Module 1 - Occupational Safety and Health Management ・ Module 2 - Safety Technology ・ Module 3 - Health and Industrial Hygiene <p>Each module contains 15 subjects with pre- and post-tests. It is designed for self-learning at home or at work. Multimedia such as videos, information sheets, examples, and tools like webboard and discussion via Facebook are also included in the system. Approximately, a participant should take 1-2 months to complete each module. Successful participant who passes all 3 modules will receive a certificate of achievement from the Department of Labour Protection and Welfare.</p> <p>Since e-OSH was introduced in May 2017, there have been cumulatively over 250 registered participants.</p>	<p>能力開発プロジェクト」を開始しました。</p> <p>このプロジェクトは、労働者補償基金から財政支援を受け、ウェブベースの e-Learning システム「e-OSH」はスコタイオープン大学によって開発されました。これは www.e-osh.net でアクセス可能です。</p> <p>現在、この e-OSH システムは 3 つのリーニングモジュールで構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - モジュール 1 - 労働安全衛生管理 - モジュール 2 - 安全技術 - モジュール 3 - 健康及び産業衛生 <p>各モジュールには 15 の科目があり、事前・事後テストがあります。自宅や職場での自己学習用に設計されています。ビデオ、情報シート、例題等のマルチメディア、ウェブボードや Facebook でのディスカッションなどのツールも含まれています。各モジュールを修了するのに約 1~2 ヶ月かかります。3 つのモジュールすべてに合格した受講者には、労働保護福祉局から修了証が授与されます。</p> <p>2017 年 5 月に e-OSH が導入されて以来、累計で 250 名以上の登録者があります。</p>
--	---